

四次元への招待 (1969)

NIGHT GALLERY

メディア TVM

ジャンル SF ファンタジー

製作国 アメリカ

時間 98分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

TV「ミステリー・ゾーン (トワイライト・ゾーン)」のロッド・サーリングが、同じく脚本とホストを務めた怪奇オムニバス。①「復讐の絵画」。画家であった叔父の死によって屋敷を受け継いだ強欲な甥は、屋敷の眼前に広がる一族の墓地を描いた一枚の絵が奇妙に変化していること知る。その絵の中で、墓場から叔父が蘇ろうとしているのだ。やがて、絵の中の叔父は一步一步屋敷に近づいて来る……。②「アイズ」。傲慢な女財産家はその見えない目を一時でも治そうと、巨額を払って移植手術を受ける。彼女に視力が戻るのは数十時間だけ。だが、包帯をとった一瞬だけ明かりは見たものの、彼女はすぐまた暗黒に連れ戻されてしまった……。③「絵になった男」。逃亡を続けるナチ戦犯はとある美術館にかかっていた、湖で釣りをする男を描いた絵に心を奪われていた。やがて、警察の捜査が迫った時、美術館に逃げ込んだ男が祈った願いとは……。絵画をモチーフとし展開される幻想的な物語はユニークなものだが、3作中ではB・セイガルの担当した第1話が一番良く出来ている。ビデオ発売より以前、「怪奇!真夏の夜の夢」の題でTV放映(90分枠)された際にはスピルバーグ担当のエピソードはカットされていた。

【クレジット】

監督	ボリス・セイガル	Boris Sagal
	スティーヴン・スピルバーグ	Steven Spielberg
	バリー・シアー	Barry Shear
製作	ウィリアム・サックハイム	William Sackheim
製作補	ジョン・バダム	John Badham
脚本	ロッド・サーリング	Rod Serling
撮影	リチャード・バチェラー	Richard Batcheller
	ウィリアム・マーガリーズ	William Margulies
編集	エドワード・M・エイブロムス	Edward M. Abrams
音楽	ビリー・ゴールデンバーグ	Billy Goldenberg
出演	ロディ・マクドウォール	Roddy McDowall
	オシー・デイヴィス	Ossie Davis
	ジョージ・マクレディ	George Macready
	ジョーン・クロフォード	Joan Crawford
	バリー・サリヴァン	Barry Sullivan
	トム・ボスレー	Tom Bosley
	リチャード・カイリー	Richard Kiley
	サム・ジャッフェ	Sam Jaffe
	ノーマ・クレーン	Norma Crane